

ぴか! 創

令和8年度 図工・美術部報 No.1
発行：5月18日（月）

制作過程にこそ、学びの意義がある

岡崎市現職研修委員会図工・美術部
部長 青木 貴之

次期学習指導要領に関する議論を行う「教育課程企画特別部会」での論点整理を経て、芸術ワーキンググループにおいても今後の各教科の方向性が検討されている。

そこで示された資料の中で、現行の学習指導要領の実現状況として、「芸術系教科・科目の学びの意義について、児童生徒が十分に実感できている状況には至っていない」と記されている。その理由は、「図画工作科の時間で学習したことを、普段の生活の中に生かしている」の質問に対して、肯定的に回答した児童の割合が6割程度に留まっていることにあるようだ。

学習したことを生活に繋げ、生かしていくことは、これまでも私たちが図画工作科や美術科で大切にしてきたことだ。学習したことを生活に繋げ、生かしていくためには多くの時間を要する。だからこそ、6年間の図画工作科の授業で、3年間の美術科の授業で、子供の発達段階に応じた段階的かつ系統的な学習ができていたか振り返らなければならない。

では、図画工作科や美術科を学ぶ子供たちにとって、「学びの意義」とは何なのか。私は「表現に至るまでの制作過程や鑑賞において、課題を解決したり試行錯誤したりして、自分なりの見方や考え方をつくっていくこと」だと考える。そして、子供たちが学びの意義を実感するにはどうするとよいのか。それは、私たちが、「子供がさまざまな思いや考えを巡らせることができる魅力ある題材、授業を提供する」ことだと考える。

昨今は、ICT機器を活用した実践も多く見られるようになってきたが、どのような過程を経て作品ができあがったのか見えづらいときがある。完成作品ではなく、制作過程にどのような学びがあるのかを一層重視すべきである。

「青木さん、星の輝きを際立たせるなら背景の色選びは大切だよ」。中学校時代の教科担任の先生の一言で、背景のスタンドグラスの色や構成を、時間をかけて一生懸命に考え、自分なりに納得いく作品を仕上げることができたことを鮮明に覚えている。色合いや色と色の組み合わせなど、服装や日用品においても私が色彩の効果やよさにより一層目を向けることができるようになった、きっかけをつくってくれた題材であることに間違いない。

子供の表現はそれぞれである。だからこそ、制作途中に個別最適な指導や支援が必要になる。すべての子供たちに、その時々にあった声掛けができることは、図画工作科、美術科の指導の醍醐味である。子供の活動が活性化する教師の声掛けで、子供が学ぶ意義を実感できるよう支えていきたい。



令和7年度 図工・美術科 論文入賞者紹介

<優秀賞>

横田 舞 先生（竜美丘小） 「見方・感じ方を広げて、豊かに表現することができる児童の育成」

實松 理沙 先生（翔南中） 「自身を取り巻く事象から見方や感じ方を広げ、主体的にSOZOすることのできる生徒の育成」

<佳作>

山田 慈恩 先生（井田小） 「楽しみながら豊かに発想を広げ造形活動に取り組む子の育成」

中根明日香 先生（矢作北小） 「形に着目した表現・鑑賞活動を通して互いの感じ方の違いを認め、言葉で思いを伝え合える児童の育成」

☆デジタルコンテンツの活用☆

図工・美術部 WEB資料活用のお知らせ

図工・美術の授業で児童・生徒に見せる参考作品に…
先生方の教材研究用として…
おかざきっ子展の題材アイデアとして…

WEB資料 を、ぜひご活用ください!

① 「リトル絵画作品集」



※過去のリトルアーティスト作品展入賞者の作品が、学年別に見ることができます。拡大して、細かな筆のタッチも見ることができます!
(校内のネットワークのみ閲覧可能です。)

② 「実践事例集」



※各学校のおかざきっ子展作品実践事例が、学校別に見ることができます。制作手順も記載されています!
(各校1学年のみ掲載されています。)

「WEB資料の閲覧方法」

- ①「OKリンク」を開く。
- ②「現職研修委員会ホームページ」をクリックして開く。
- ③「図工・美術部」をクリック。



《三教研造形部夏季研修会》

日時：令和8年8月24日(月)
13:30~16:00(受付13:00~)

場所：岡崎市民会館(甲山会館)
岡崎市六供町字出崎15番地1

講師：群馬大学 共同教育学部 美術教育講座
教授 郡司 明子 先生
群馬県と東京都で小学校教員を経て2022年度から現職。主な研究テーマは幼児の表現教育、美術科教育、身体を通じて表現することを重視したアート教育などに取り組む。

講演内容：未定
参加費：無料
交通：駐車場 市民会館駐車場利用可

《愛知県造形教育研究会総会》

日時：令和8年8月7日(金)
13:00~16:10

場所：豊明市文化会館小ホール
(愛知県豊明市西川町広原28-1)

主催：愛知県造形教育研究会・尾張教育研究会造形研究部会

交通：電車 前後駅で降車
地下鉄徳重(藤田医科大学病院経由)センター前下車 徒歩9分
※講演内容や参加費、講師、駐車場については、後日詳細の案内をさせていただきます。



図工・美術部 自主研修会のお知らせ

「これでバッチリ!!魅力的な題材の工夫」

日時：5月27日(水) 17:15~
場所：総合学習センター研修室1

※開始時間を17:15~に、場所を研修室1に変更いたします。

普段の図工の授業で作品づくりにお悩みのある先生方、また「今年のおかざきっ子展どうしよう」と迷われている先生方にお知らせです。「どんなイメージを子供にもたせるとよいか」「どんな材料を使うとよいか」という視点で、自主研修会を開催します。発想力豊かな作品づくりのアイデアやヒントをつかむことのできる良い機会になるかと思えます。参加をご希望する先生は、右側のFormsにて5月22日(水)までに、申し込みをお願いします。



令和8年度図工・美術部 第一回自主研修会「これでバッチリ!!魅力的な題材の工夫」 参加申し込みフォーム



岡崎の図工・美術教師展について

期間：令和8年8月19日(水)~8月23日(日)
時間：午前10時~午後17時半 ※最終日は午後2時
会場：岡崎市美術館第5展示室(岡崎裁判所近く)

毎年開催されている、岡崎の図工美術にかかわる現職の先生と、退職された図工美術の先輩の先生方が自主的に行う作品展です。おかざきっ子展作品の出品については、今年は無料です。(フリースペースは3000円です。)多くの方の出品参加と来館をお待ちしております。



【26展】岡崎の図工・美術教師展(現職・OB)への申し込みについて

